

2人の世界

ねえ、またあの衝突を

爆発を感じたくない？



古見陽香里

古林南

田村明石

望月ゆうか

横山唯

ミノリ

中島優菜



脚本・監督・編集：日高虎太郎
音楽：青山涼 撮影：吉田英羽 照明：河村優 編音：加藤大空
カラーグレーディング：杉元文香 整音・効果：鈴木規弘
ダンス振付・指導：AKANE NAKANO スチール：鈴木花蓮 タイトルロゴ：佐藤大真
制作：小さな映画

劇中で彼女たちが口にするように、
他者と「私」の境界線となるのがまず第一に
この身体であるという自明の事実と、どう向き合って
いくことができるのか。

『2人のギブス』はその希望と絶望、自由と不自由の狭間
で揺れる少女たちの躍動と情動を描く。

児玉美月

(映画評論家)

「ここ見つけたら絶対

撮るしかないよね」と納得の、

あまりに見事な坂道を俳優たちがぎこちなく歩いていく。

このファーストシーンで早くもグッと引き込まれました。

抑制されたトーンの芝居と乱高下する情動が不思議な

アンバランスさで、でもそれこそが青春なのだろうとも。

映画を観終わり、もしかしたら全てが思春期にうなされる

作中の「誰か」がうたた寝の一瞬にみた夢だったのでは

ないか、と疑っている。

だとしたら、それは誰の夢だったのだろうと考えている。

そんな勝手な空想へと誘う懐の深い映画だった。

深田晃司

(映画監督)

劇中歌：夜を延ばして / Sundae May Club

決して交わらない2人の足取りは やがて、その瞬間のリズムを刻みはじめる。

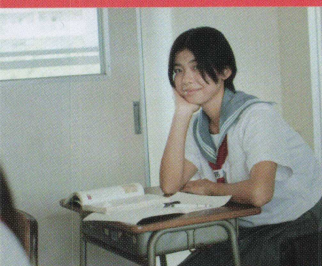
ある夏の日、茹だるような熱気の中、片足にギブスを嵌め、松葉杖を突く2人の女生徒、
愛花と詩織が連れ立って下校道を歩いている。

2人は同じ高校に通い、同じバスケットボール部に所属している。

愛花は部内のエースで、詩織は補欠。

2人はインターハイ目前の練習中に起こった不慮の接触事故によって、互いに足を負傷し、
それ以来、登下校など行動を共にしているのだ。

そんな中、愛花の恋人である中谷がバスケ部のマネージャー、綾に
部室で浮気をする場面を愛花と詩織は目撃するのだった。



8/30(土)より K's cinema にてロードショー

特別鑑賞券発売中 1200 円 (税込) ※当日一般・学生 1500 円の処

新宿駅東口階段下 甲州街道沿道モショップ左入
新宿 K's cinema
03(3352)2471 www.ks-cinema.com
全席指定・定員入替制

